

令和3年度 学校自己評価及び学校関係者評価表

武蔵村山市立第三中学校

経営理念	生徒の学力向上と、生徒にとって安全・安心な学校を目指す
------	-----------------------------

【学校運営協議会・会長】 兼城 みや子
学校運営協議会（学校評価分）
第1回 4月22日（木）
第2回 11月25日（木）
第3回 1月27日（木）

経営目標 (中期・短期を明記)	目標達成のための方策	評価指標	自己評価			改善策(来年度の目標設定、具体記取組目標)	学校関係者評価			
			目標値 11月 達成値	最終評価 達成度	評価		意見	評価点 (4点満点)		
確かな学力の向上	授業力向上を図る。	自己申告書等をもとに、指導法の工夫・改善を行う。外部講師を招聘した研究授業の実施	90	98	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もGIGAスクールを意識して、ICTを活用した授業改善を継続して行い、成果を検証していく必要がある。 ・「三中スタンダード」を基に、「定期考査前補習教室」や長期休業中の「補習教室」を活用して基礎・基本の定着と思考力を高める。 ・生徒による授業アンケートの成果と課題の分析、小学校との授業実践交流を基に授業改善を継続して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習が遅れがちな生徒の対応が必要と思います。外部講師を招いての研究授業は非常に良いと思います。 ・授業が分かりやすいと回答している生徒が多数いることは素晴らしいと思うが、分かりにくいと回答している生徒の対応が必要だと思う。 	3.7		
	指導方法の改善・工夫を行う。	「主体的・対話的で深い学び」の授業展開について「生徒の自己評価活動」をもとに、検証を行う。	80						94	A
	家庭学習の定着を図る。	「学習の手引き」をもとに、学習の仕方を学ばせ、各担任により、取組の進行管理を行う。「家庭学習状況調査」を実施し、検証を行う。	80	89	A					
豊かな心の育成	いじめ撲滅への取組	「いじめアンケート」「いじめ撲滅キャンペーン」等を活用して、思いやりの心を育成する。	90			92	A	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートを定期的実施する。こまめに二者面談を行うなどして、いじめのサインを見逃さず教員間で情報を共有し組織的に迅速・的確に対応する。 ・教員の人権意識向上と「いじめの対応」、「体罰防止」の研修会を継続して実施し、教員の意識向上を図る。 ・学年会などで、ベテラン教員と若手教員で、生徒理解、生徒指導について話し合う時間を十分確保し、必要なら研修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年が上がることによって、学校生活、人間関係にも慣れてくると思います。安心して学校生活ができるよう先生方の一人一人生徒への声かけに期待しています。 ・学校、家庭が子供たちの小さな変化にも気づき、声掛け、相談に励んでほしいです。 ・三中を「安心して過ごせる学校」と生徒・保護者ともに認識していて素晴らしい。 	3.7
	特別な支援を要する児童・生徒への対応	教育相談の充実	90	70	B					
	全校あいさつ運動の実施	あいさつをよくする生徒の育成	90			104	A			
健やかな体の育成	日常的な体力づくりの推進	ミニオリンピック大会の実施	90	100	A			<ul style="list-style-type: none"> ・「弁当の日」を継続実施し、「食」に関する意識や、人々への感謝の念がより高まるように指導していく。 ・給食指導において、マナーの徹底と食材に対する関心をより一層高める。 ・「食育」の年間指導計画の工夫・改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあったものの出来る範囲内での活動ができ、大変有効であった。 ・「弁当の日」「食育の日」または給食を通した食の指導を今後も続けてほしい。 ・人間生きていくのに食は一番大切なことなのでそれを指導してください。 	
	食育の推進	食育の全体計画に基づく食育指導の実施	90			100	A			<ul style="list-style-type: none"> ・「弁当の日」の自分で弁当づくりを行う体験を通して、食や健康に関する意識を高め、保護者に対する感謝の気持ちをもたせることができている。今後も継続して取り組んでいく。 ・給食指導やお便りを通して、健康や食生活に対する意識を高めさせることができている。
開かれた学校	オリンピック・パラリンピック教育の推進	参加国や、環境についての学習の実施	90	90	A					
	学校の公開 保護者・地域との連携	学校公開週間の実施 地域人材の活用（ふれあいフェスティバル・地域の方々の話を聞く会）	90			96	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染対策により学校公開、学校公開週間は実施できなかった。 ・3学年の地域の方々との面接練習を通して、地域と生徒たちとの交流を継続している。 ・「ふれあいフェスティバル」を通じて、地域の方との連携に力を入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開の時間が殆どなく、各便りやホームページの活用は大変良かったと思います。 ・コロナの安全対策もあります学校、家庭が共有する場だと思っています。安全管理徹底のもと実施するべきだと思います。 ・コロナもあって学校での様子が全く見えてこない。 	
			96							

【達成度】 = [達成値] / [目標値]
 【評価】 A：8割以上→目標達成とみなし新たな目標設定 B：8割未満5割以上→8割を超えるまで継続実施 C：5割未満→目標の見直し

平均値 3.6